

○調査結果の概要

1. 貿易企業の概要

・貿易実績のある企業 224 社

2019 年(暦年)における輸出企業は 179 社(前年 163 社)、輸入企業は 106 社(同 107 社)、これらのうちで輸出入ともに行っている企業は 61 社(同 61 社)で貿易企業は 224 社(同 209 社)となった。

所在地別では、松江市が 66 社と最も多く、続いて出雲市 51 社、浜田市 21 社の順となった。

2. 貿易実績

・島根県の 2019 年貿易額は 3,735 億円

県内企業の 2019 年(暦年)の貿易額(輸出入額)は 3,735 億円(前年 4,161 億円)であり、前年比 10.2%の減少となった。

輸出額 2,783 億円(前年 2,968 億円)に対し、輸入額は 952 億円(前年 1,193 億円)となっており、1,831 億円の輸出超過(前年は 1,175 億円の輸出超過)となった。

(1) 輸出の実績

・輸出額は 2,783 億円、輸出全体の 75.1%が機械、電気機器及び同製品並びに部分品

2019 年(暦年)の県内企業の輸出額は 2,783 億円(前年 2,968 億円)であり、対前年比で 6.2%の減少となった。

輸出品目別では、「機械、電気機器及び同製品並びに部分品」が 2,090 億円(構成比 75.1%)と最も多く、次いで「卑金属及び同製品」が 476 億円(同 17.1%)となっており、両品目で輸出全体の 92.2%を占めた。地域別では、アジアが 565 億円(構成比 20.3%)、ヨーロッパが 420 億円(同 15.1%)、北アメリカが 162 億円(同 5.8%)となっており、この三地域で全体の 41.2%を占めている。国別輸出額でみるとドイツが 299 億円(構成比 10.8%)、韓国が 159 億円(同 5.7%)、中国が 146 億円(同 5.2%)、アメリカ合衆国が 143 億円(同 5.2%)、となっている。

輸出形態では、直接輸出が 475 億円(構成比 17.1%)、間接輸出が 2,308 億円(同 82.9%)となっており間接輸出の割合が高くなっている。

輸出の積出港をみると、最も多かったのは関西地域で全体の 28.8%、次いで関東地域が 10.5%と続いている。なお山陰地方の港の積出は、浜田港、境港ともに 0.6%となっている。

(2) 輸入の実績

・輸入額は952億円、輸入全体の32.8%が鉱物性生産品

2019年(暦年)の県内企業の輸入額は952億円(前年1,193億円)であり、対前年比で20.2%の減少となった。

輸入を品目別にみると、「鉱物性生産品」が312億円(構成比32.8%)と最も多く、次いで「機械、電気機器及び同製品並びに部分品」が223億円(同23.4%)、「卑金属及び同製品」が130億円(同13.7%)となっている。地域別では、アジアが574億円(構成比60.3%)と最も多く、オセアニアが131億円(同13.8%)、北アメリカが76億円(同8.0%)と続いている。国別輸入額でみると、中国が316億円(構成比33.2%)、インドネシアが145億円(同15.2%)、オーストラリアが126億円(同13.3%)、アメリカ合衆国が43億円(同4.5%)となっている。

輸入形態は、直接輸入が504億円(同52.9%)、間接輸入が448億円(同47.1%)となっており、直接輸入の割合が高かった。

輸入を荷揚港別にみると、最も多かったのは関西地域で全体の40.1%を占めた。なお、山陰地方の港の荷揚げは、三隅港30.3%、浜田港6.3%、境港5.7%となっている。

3. 海外直接投資及び外国企業との提携

・投資先は中国とタイが9件、提携先は中国が最多

海外への投資案件は全体で22社30件となっており、投資先を国別にみると、中国とタイがともに9件となっており、地域別でみるとアジア全体で86.7%を占めている。

形態別では、独資12件、合併8件、駐在員事務所7件、支店2件、その他が1件となっている。

県内企業の外国企業との提携は全体で25社61件あり、提携先を国別にみると、中国が16件(構成比26.2%)と最も多く、次いでベトナムが5件となっている。地域別にみると、アジアが48件で78.7%を占め、ヨーロッパが7件で11.5%、北アメリカが5件で8.2%となっている。

形態別では、販売代理店契約33件、委託加工貿易14件、技術供与9件、技術導入6件となっている。